

殺菌剤

カナメ
フロアブル®

防除の要、
カナメ

現る



特長

- 幅広い病害に対し安定した防除効果を示します。
中でも担子菌（リゾクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等）やリンゴ黒星病、ナシ黒星病等に対し高い効果を示します。
- 浸達性、浸透移行性を有します。
- 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です*。
*詳しくは適用内容をご確認ください。

適用病害の範囲及び使用方法（裏面もご覧ください）

2024年9月現在の登録内容（赤字は2024年9月11日適用拡大）

作物名	適用病害名	希釈倍数 （倍）	使用液量 （ℓ/10a）	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インピルフルキサムを 含む農薬の総使用回数
かんきつ	灰色かび病 そうか病、黒点病	4000～8000	200～700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
りんご	黒星病、すす点病 すす斑病、斑点落葉病 うどんこ病、褐斑病 黒点病、モニリア病 赤星病、灰色かび病	4000					
なし	黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病、 胴枯病	4000～8000					
小粒核果類	黒星病 すす斑病（うめ）、灰星病	4000					
もも	黒星病、うどんこ病、 褐さび病						
ネクタリン おうとう	灰星病	4000～8000					
ぶどう	黒とう病、さび病 うどんこ病、褐斑病	4000	100～300	発病初期	1回	15分間球根浸漬	1回
かき	うどんこ病 灰色かび病、落葉病	4000					
きく	白さび病	4000～8000					
チューリップ	皮腐病、葉腐病	100～200	—	植付前	3回以内	散布	3回以内
りんどう	黒斑病	4000	100～300	発病初期	3回以内	散布	3回以内

適用病害の範囲及び使用方法（表面もご覧ください）

2024年9月現在の登録内容（赤字は2024年9月11日適用拡大）

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インビルフルキサムを 含む農薬の総使用回数
麦類 (小麦を除く)	雪腐小粒菌核病	2000～4000	60～150	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (根雪前は2回以内、 根雪後は2回以内)
	赤さび病	4000～8000		収穫7日前まで			
	うどんこ病	4000		根雪前			
小麦	雪腐小粒菌核病	2000～4000	60～150	根雪前	2回以内		5回以内 (種子への処理は1回以内、 根雪前の散布は2回以内、 根雪後の散布は2回以内)
	赤さび病	4000～8000		収穫7日前まで			
	うどんこ病						
トマト ミニトマト	うどんこ病、菌核病 すすかび病、灰色かび病 葉かび病 褐色輪紋病、斑点病	4000	100～300	収穫前日まで	4回以内		4回以内
きゅうり	うどんこ病、菌核病 灰色かび病				3回以内		3回以内
にんじん	斑点病						
結球あぶらな科葉菜類 (はくさい、キャベツを除く)	菌核病						
はくさい	菌核病、尻腐病						
キャベツ	菌核病、株腐病						
ブロッコリー	菌核病、黒すす病						
レタス類	菌核病、灰色かび病 すそ枯病						
いちご	うどんこ病、灰色かび病				4回以内		4回以内
豆類 (種実、ただし、あずき、 そらまめ、だいず、 らっかせいを除く)	菌核病、灰色かび病						
だいず	白絹病						
あずき そらまめ	菌核病、灰色かび病 さび病	株元散布					
ばれいしょ	黒あざ病	400～1000	—	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	4回以内 (種いもへの処理は1回以内、 植付後は3回以内)
	夏疫病	4000	100～300	収穫前日まで	3回以内	散布	
たまねぎ	灰色かび病、小菌核病	4000～8000			4回以内		株元散布
	灰色腐敗病						
ねぎ	さび病	4000					
	黒斑病、葉枯病、白絹病	4000					
	白絹病	4000～8000					
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどう、未成熟 そらまめを除く)	黒腐菌核病	4000			4000	散布	
	菌核病、灰色かび病						
	菌核病、灰色かび病 さび病						
	未成熟そらまめ						
	さやえんどう						うどんこ病

⚠ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

06R9I24K35:Z

2024年9月作成

農業・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号